



# 清水港湾事務所 これからの港づくり・地域づくり

## ～ 次の100年に向けて～

清水港湾事務所では、これからも、時代の変化に対応しながら、地域の持続的な発展や安全・安心の確保に向けた港づくり・地域づくりを進めていきます。

ここでは、各港における今後の取組の方向性（イメージ）をご紹介します。引き続き、地域の皆様・港湾関係者の皆様と連携し、具体化に向けて取り組んでまいります。

### 清水港 更なる物流効率化・高度化と災害対応力の強化



コンテナターミナルの再編・拠点化とともに、デジタル技術・遠隔操作技術等の導入により、効率的で信頼性が高い港湾物流を実現し、地域産業の持続的な発展に貢献



岸壁や防波堤等の港湾施設の改良等により、地震・津波や台風・高潮・高波等の自然災害への対応力を強化

### 田子の浦港 より安全で使いやすい港に向けて



航路等の港湾施設の改良等により、波浪の影響を低減するなど、安全かつ安定的な港湾利用を実現

### 御前崎港 次世代エネルギー等の新たな産業展開や更なる賑わいの創出



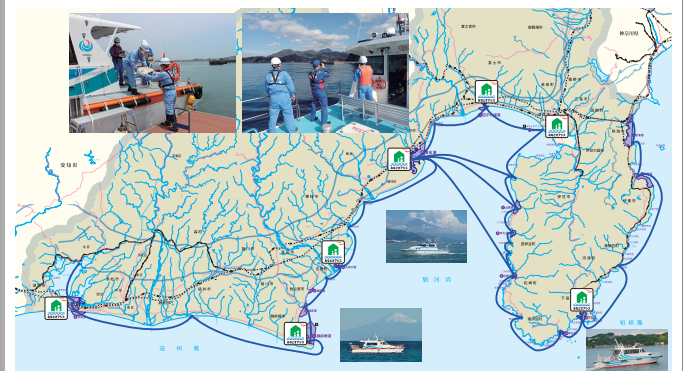
港湾空間の再編や利活用により、物流機能に加え、次世代エネルギー等の新たな産業展開を図るとともに、地域の賑わい拠点としてのみなとづくりを推進

### 下田港 歴史・文化を活かしたまちづくりとの連携



歴史・文化を活かしたまちづくりと一体となり、津波からの市街地の防護や、静穏水域を活かした港の多面的活用に向けて、防波堤整備を着実に実施

### 駿河湾等 海路による広域防災ネットワークの構築



災害の発生に備え、関係機関との連携により、みなとオアシスをはじめとする港湾・漁港を拠点とした海路による広域防災ネットワークの構築を推進